

2008 年度新潟大学歯学部同窓会支部長会議 議事要旨

日時：2008 年 8 月 24 日（日）15:05-17:15

場所：キャンパス・イノベーションセンター東京 508,509

出席者：

[同窓会本部] 多和田、野村・佐藤・近藤・福島・鈴木、成田、堤

[支部長] 伊藤（山形）、齊藤（福島）、本間（新潟）、山本（富山）、佐藤（石川）、
生田（福井）、横林（長野）、細見（栃木）、堀江（茨城）、上田（群馬）、
金子（千葉）、小宮（神奈川）

[歯学部] 前田（歯学部長）

1. 野村議長の司会のもと、多和田会長の挨拶の後、三役の自己紹介があった。

2. 前田歯学部長より資料をもとに歯学部の近況報告があった。

- ・国立大学法人となり 5 年が経過。現在、第一期中期目標の自己評価を文科省に提出し、評価を待っているところでありそれにより第二期中期目標の策定と予算決めがなされる。
- ・独法化によって変わったことは大学間の競争である。学内また学部内の競争もあり、予算配分は各種評価に基づく傾斜配分となっている。
- ・病院では現在再開発が行われており来年 10 月に中央診療棟が竣工する。更に 21 年概算要求で外来棟の新規工事の要求をしている
- ・VF を歯学部の予算で機器更新、またコーンビーム CT を病院予算で新設し 9 月稼動予定である。
- ・学生の国家試験では歯科医師国家試験が 84.2%、歯科衛生士国家試験が 94.1%であった。社会福祉士国家試験については 66.6%と全国平均の 2 倍であった。口腔生命福祉学科の就職状況としては県職に 2 名、病院歯科、進学などバリエーションにとんでいる。
- ・環境整備については、トイレとエレベータの改修、バリアフリー化を行った。また、技工実習室、講義室にエアコンを設備した。小会議室では五十嵐と双方向システムを導入した。
- ・まとめとしては他学の歯学部と比べて順調、学内でも高い評価を受けている。

3. 成田専務理事より資料をもとに以下のような同窓会本部の近況報告と依頼があった。

- 1) 新入会員の会費前納制度について。
- 2) 口腔生命福祉学科については学生の意見もふまえて同窓会正会員とした。
- 3) H18 年に全学同窓会が設立され、歯学部同窓会も参加した。

- 4) ブロックを廃止し支部のない都道府県について都道府県代表幹事を新設した。
- 5) 同窓会が扱う個人情報に関する基本方針と名簿取扱指針を策定した。
- 6) 学生表彰制度の制定。現在は暫定であり来年の総会に最終案を提示したい。
- 7) 求職支援事業の創設について。
- 8) 開業歯科医院承継支援事業の創設について。
- 9) 求人求職、承継事業については他大学出身者についても条件付きで対応することとしたこと。
- 10) 8)、9) に関して各支部に対して情報伝達や制度の活用につき協力依頼があった。

4. 福島副会長より資料をもとに全学同窓会に関する報告と依頼があった。

1) H20 年度の事業計画について

- ・ 11 月の文化の日に合わせて全学同窓会交流会、講演会、懇親会を開催予定。
- ・ 2009 年は新潟大学（新制）60 周年となり記念事業の準備を行っている。五十嵐の西門の整備を行うことを検討中。
- ・ 広報誌「雪華」の年 2 回発行。
- ・ 60 周年に向けシンボルマーク入りグッズの作成。
- ・ アースコンシャスフォトコンテスト（佐渡をテーマとした写真集）。

2) 新潟大学カードについて、未入会の同窓会員には是非入会していただきたい旨の依頼があった。

3) 財政基盤の確立について、大学への賛助としてお願いしたい旨の依頼があった。

4) 新潟大学では今年志願者数の低下が大きな問題となっており、各学部 2 名の協力教員による「新潟大学魅力発信プログラム」というプロジェクトチームの立ち上げと高校訪問を行っている。

5) 支部より歯学部の志願者低下について質問があり、学部長から、国立大学においては学力を含む質の低下は認められないとの回答があった。

5. 各支部長から自己紹介と近況報告があった

山形県支部（伊藤）

発足 10 年以内の新しい同窓会。今年 4 月から支部長。

会員は 25,6 名。

県の衛生士学校に就職した口腔生命福祉学科の卒業生の処遇を考慮中。

福島県支部（斉藤）

S62 年に発足し今年で 31 年目。会員は 34 名。福島県立医大では 18 期生の長谷川博先生が

准教授となり、同大とは引き続き綿密な連携がなされている。

新潟県支部（本間）

昨年から会長を引き継いだ。

富山県支部（山本）

昨年 20 周年（最初は北陸支部として発足したので分離してから）

年一回の研修会、新年会や総会を行っている。

北陸 3 県間での交流あり。

同窓生の高齢化に伴い代診、承継事業などに取り組んでほしい。

本部と協力して会員情報の把握をしたい。

研修医や口腔生命福祉学科卒業生の扱いについて本部に指針を示してもらいたい。

石川県支部（佐藤副支部長）

会員は 43 名。

年 4 回の総会、例会（1 回は温泉旅行）、月 1 回の幹部による会議を行っている。

福井県支部（生田副支部長）

会員は 16 名。

年 2 回の支部会を行っているがまだあまり活発な活動はない。

本部への要望は資料のとおり（別紙資料あり）。

神奈川県支部（小宮）

「新潟大学歯学部神奈川県同窓会」という名称である。

会員は 70 数名。

年 1 の学術研修会、ゴルフの親睦会を開催している。

千葉県支部（金子）

会員は 48 名

総会は 15 名程度集まる。

本日の首都圏セミナーにも 10 名程度集まった。

群馬県支部（上田）

会員は 98 名

新潟に近いので会員数は増加の一途をたどっている。

9 月に伊香保温泉一泊旅行を予定している。

年末に2回の忘年会と勉強会を行っている。

茨城県支部（堀江）

会員は28名

案内や情報提供等はメールを活用している。

例会は持ち回りで全員参加にて開催。講演も自前でやっている。

栃木県支部（細見）

今年の活動としては、県歯科医師会会長の逝去に伴い献花と挨拶に出向いた。

足利日赤の新大出身の研修医が2名来て歓迎会を行った。

新卒者の動向がわからないので、その種の情報が欲しい。

長野県支部（横林）

会員は77名、うち松本歯科大学に6,7名。

今春、口腔生命福祉学科の卒業生が長野日赤に衛生士として就職し会員として迎え、会費は1,000円（歯科医師は開業医10,000円、勤務医5,000円）とした。

6. 協議

1) 連絡不明会員について

(1) 佐藤副会長より以下の報告・依頼があった。

・本部で把握している各支部の会員名簿を各支部に配布し、各支部で把握している名簿と付き合わせを行ってもらいたい旨の依頼があった。

・学生との懇親会等において将来、就職や開業等で移動の際には当該地の支部や都道府県幹事に連絡をとるよう周知すること、またクラス代議員ルートなども活用する等、本部としても会員情報の把握を十分行うよう努力したい。

(2) 議長より各支部における研修医の把握についてはどうかとの質問があり、以下のような意見が出た。

・病院の研修医は把握できるが開業医で研修する研修医の情報が同窓会経由で得られるとありがたい（支部）。

・半年程度の短期間しかいない研修医は支部同窓会に入れる必要はないのではないか（支部）。

・短期間であっても情報としては把握しておいた方が良い。支部から声をかける等のこと

もできる（支部）。

- ・HP等で研修指定を受けている診療所とのみコンタクトをとればよい（学部長）。

（3）会長から口腔生命福祉学科の卒業生については本部では正会員としているので、支部でもそれに準じた扱いをしていただきたい旨依頼があった。

2) 天災時の対応について

佐藤副会長より、本部では各支部や都道府県等の情報ネットワークの整備に努めているが、とりわけ天災等の際には情報収集等に協力願いたい旨依頼があった。

3) 支部運営について

支部運営につき、以下のような意見交換がされた。

- ・情報伝達ルートとしてはメールがもっとも安価で有用であるので各支部でメーリングリストを立ち上げてほしい。立ち上げについては本部でも協力する。（多和田）
- ・支部の会費納入率が低く運営に苦慮している。本部から支部に対する交付金等など補助を考えてもらいたい。（支部）
- ・支部のない地域との格差等も考慮する必要があり現時点では困難。（多和田）
- ・新潟以外の同窓生にとっては同窓会事業のメリットが受けにくい等のこともあり、本部から支部への何らかのサポートを是非考えてほしい。（支部）

4) その他

以下のような意見があった。

- ・会員逝去時の供花につき、他大学では必ず同窓会からの供花があるが新大ではない場合があり会員として寂しいので対応願いたい。（支部）
- ・慶弔規定に則って会員には生花の供花を行うことになっているので、そのような場合にはどんなルートでもよいので本部へ連絡してほしい。（佐藤）

以上